

# 無能にならないためには

自分が最も能力を発揮できる職位に留まる

昇進の打診をきっぱり断る（しかし難しい）

初めから昇進の話を持ちかけられないようにする（無能さを偽装する、小さな失敗をする）

変人ぶりを発揮する（無愛想となる、型破りな服装、ひげをそり残す、机の上を乱雑に）

昇進を回避したいと思っている事実をまわりに悟られないようにする

# ピーターの法則を知ることによるご利益

自分の無能を克服し、他人の無能を理解することで楽な気持ちで仕事ができるようになる

昇進し、お金ももっと稼げるようになる

いやな病気にもかからなくなる

仲間からはリーダーとして認められる

余暇も楽しめるようになり家族円満で豊かな人生を送れるようになる

# ピーターの法則の弱点

現実社会はピーターが言うように無能者であふれかえっているわけではない、なぜか

ピーターの法則には、人は成長し、立場が人を創るという視点がない。現実には各階層ともそこにいる人々はその役に応じ日々研鑽し、成長している。最初から指導者にふさわしい人材が生まれるわけではない、切磋琢磨の中から生まれる。

ピーターの法則には、「君子豹変す」という視点がない。その立場になると人が変わったように活躍する人がいる(今までネコかぶっていたのか)。